

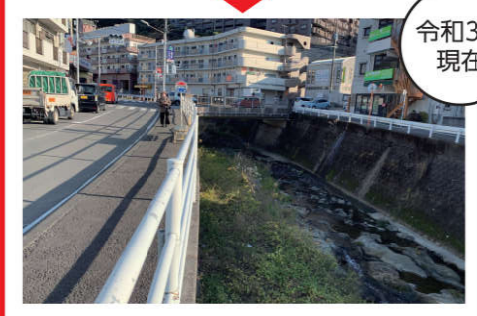
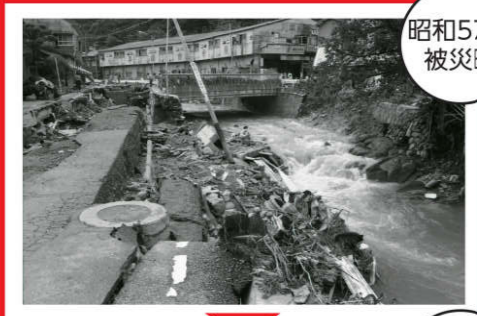
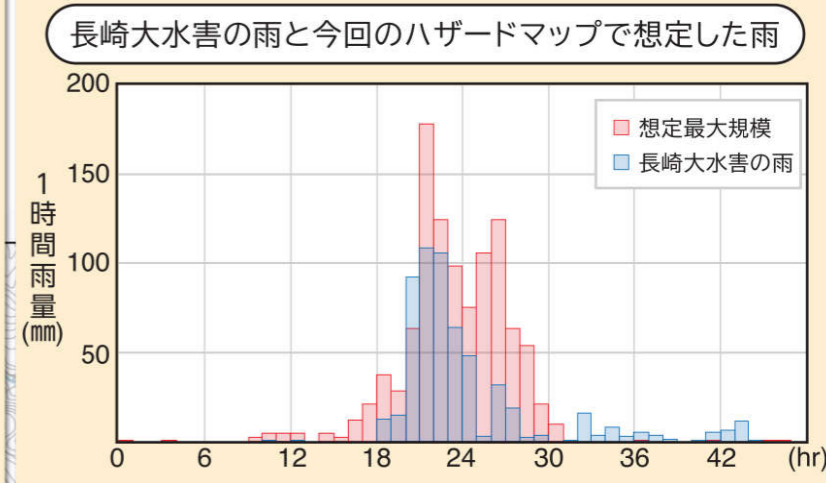
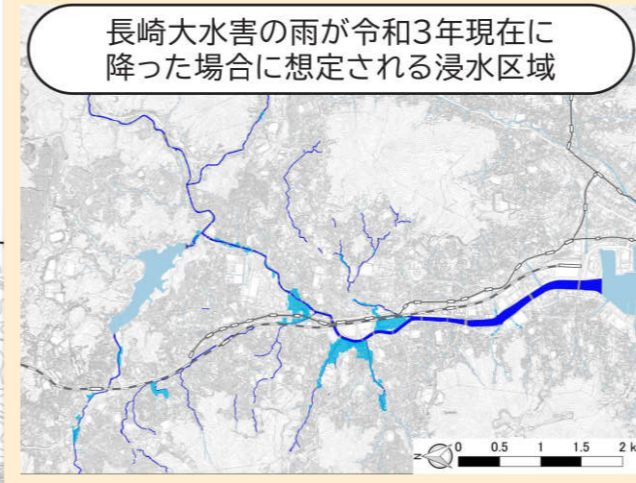
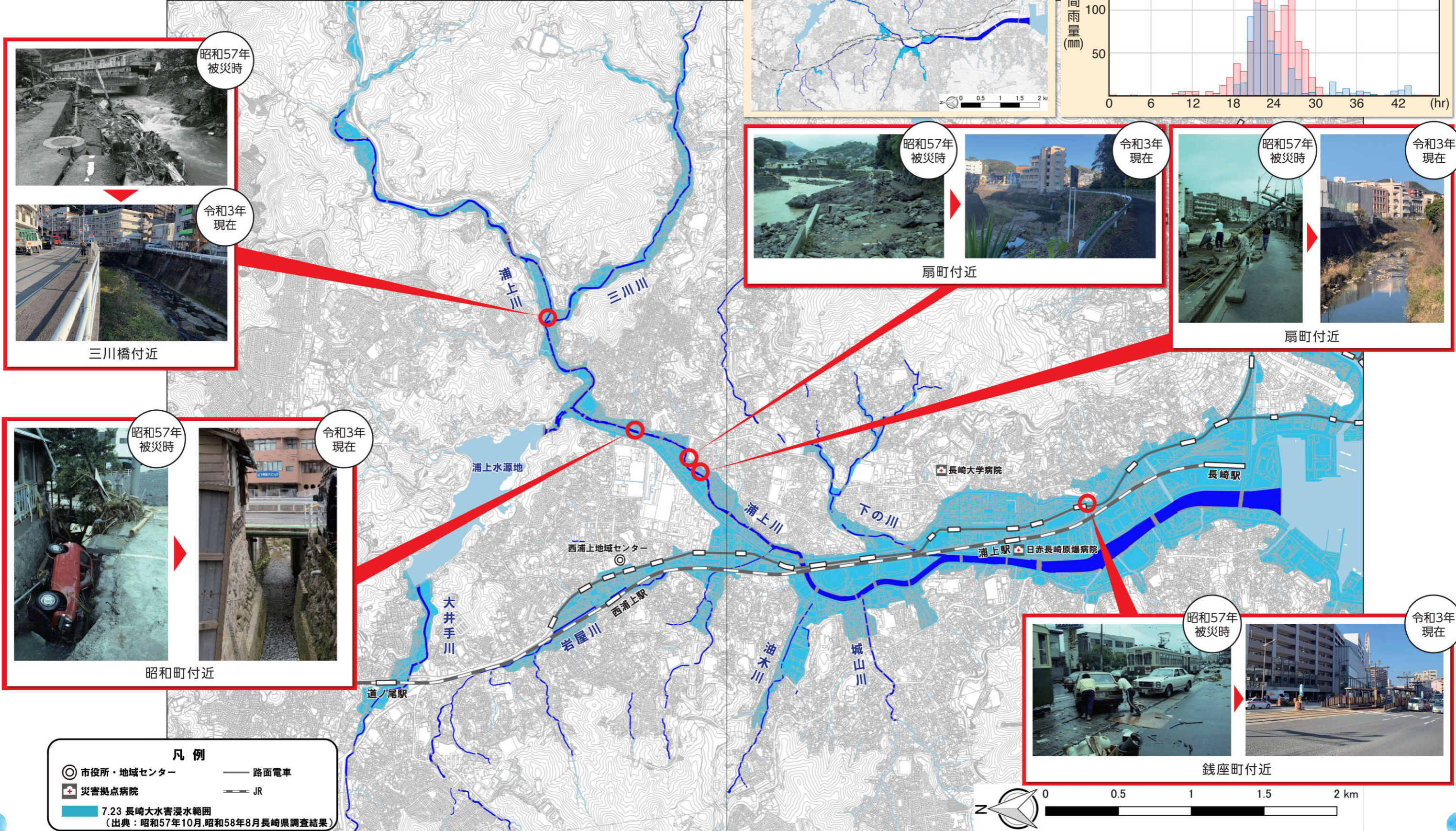
7.23 長崎大水害

被害概要

昭和57年7月23日に長崎市を襲った集中豪雨は、降り始めから25日までの3日間に573mmを記録するという未曾有の降水量をもたらし、特に23日の午後7時から午後8時までの時間雨量は111.5mmに達し、市全体にわたり多くの尊い人命と財産を奪うとともに経済活動・都市機能などに甚大な被害をもたらしました。この水害により、浦上川沿川の川平町で34名など市全体で264名の方が犠牲になり、家屋の倒壊や浸水は約2万7千戸に上りました。また、長崎大水害は、地下施設の浸水や濁流で押し流された自動車が路上に山積したことによる緊急車両の通行障害など、都市水害の課題を浮き彫りにした水害でもあります。

水害の後

水害後、浦上川では川の流れをスムーズにするために川底を掘り下げる工事等を進めてきました。その整備効果により、長崎大水害と同じ雨が現在降った場合、浸水する区域や浸水深さは、当時と比べて大幅に減少しますが、一部の土地の低い場所などでは浸水が想定される場所もあります。また、今後、長崎大水害を超える雨が降る可能性もあることから洪水に対する備えが必要です。



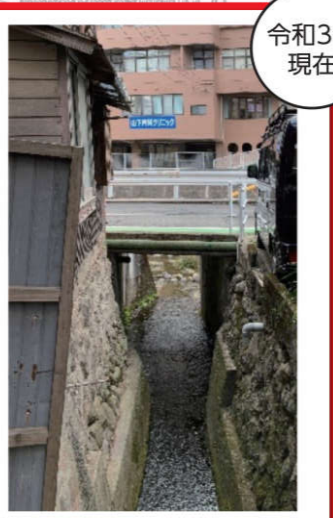
三川橋付近



扇町付近



扇町付近



昭和町付近



銭座町付近

凡例

- ◎ 市役所・地域センター
- ⚡ 路面電車
- 🏥 災害拠点病院
- 🚆 JR
- 7.23 長崎大水害浸水範囲 (出典：昭和57年10月、昭和58年8月長崎県調査結果)